



平成30年1月17日(火) 岐阜県発表資料			
担当課	担当係	担当者	電話番号
里川振興課	里川振興係	河尻・藤井	内線 2893 直通 058-272-8455 FAX 058-278-2695

当日連絡先：河尻携帯 090-2772-2849

世界農業遺産国際シンポジウムについて

世界農業遺産である「清流長良川の鮎」と「能登の里山里海」を有する岐阜県と石川県が連携して、その価値を国際的に発信するとともに、認定地域の持続的な発展と、世界農業遺産を生かした観光振興策について考えるため、両県主催によるシンポジウムを下記のとおり開催します。

記

1 日時

平成30年1月25日(木) 13:30～15:30

2 場所

ぎふ清流文化プラザ 長良川ホール (岐阜市学園町3-42)

3 プログラム

(1) 開会あいさつ たまだ かずひろ 玉田 和浩 世界農業遺産「清流長良川の鮎」推進協議会会長

(2) 基調講演

講師 ユン ウォングン 尹 源根 協成大学校教授、東アジア農業遺産学会(ERAHS) エラス 韓国議長
演題 韓国におけるGIAHSとその農村振興政策のための示唆

(3) 「清流長良川の恵みの逸品^{*1}」と「未来につなげる『能登』の一品^{*2}」の試食

(4) パネルディスカッション

テーマ：世界農業遺産を生かした観光振興

コーディネーター：ながた あきら 永田 明 国連大学サステイナビリティ高等研究所
シニア・プログラム・アドバイザー

パネリスト：かじはら ひろゆき 梶原 宏之 阿蘇たにびと博物館館長
むらやま ともかず 村山 智一 株式会社OkuruSky(オクルスカイ)代表取締役
いとう ともしこ 伊藤 知子 長良川温泉若女将會会長
ながよし ごう 永吉 剛 NPO法人メタセコイアの森の仲間たち代表理事

(5) 閉会

^{*1} 清流長良川の恵みの逸品とは

「長良川システム」を保全・継承・発展させていくため、清流長良川の恩恵を受け育まれた自慢の商品を「清流長良川の恵みの逸品」として認定。認定商品のパッケージ等にロゴマークの表示が可能。現在106品目を認定。

^{*2} 未来につなげる「能登」の一品とは

「能登の里山里海」で生まれ、世界農業遺産の保全・継承に資する商品を、世界農業遺産 未来につなげる「能登」の一品として認定。認定商品のパッケージ等にロゴマークの表示が可能。現在32品目を認定。

(詳細は、別添チラシをご参照願います。)

講師等プロフィール

●基調講演



尹 源根 ユン ウォングン
(協成大学校地域開発学部 教授)

韓国農業遺産と GIAHS をはじめとする韓国における農業遺産の発展に中心的な役割を担う韓国農村遺産学会 (KRHA) の前理事長・東アジア農業遺産学会 (ERAHS) 韓国議長

●パネルディスカッション ＜コーディネーター＞



永田 明 ながた あきら
(国連大学 シニア・プログラム・アドバイザー)

国連大学サステナビリティ高等研究所で、GIAHS に関する研究をはじめ、開発途上国の若手農業研究者の研修事業、東南アジアの海岸林保全研究などのコーディネーターを担当

＜パネリスト＞



梶原 宏之 かじはら ひろゆき
(阿蘇たにびと博物館館長)

1997年に阿蘇山でエコミュージアム「阿蘇たにびと博物館」を設立、阿蘇のジオパークや GIAHS にも関わる。2017年、「臺南記憶の博物館」を設立、現在台湾と日本をつなげるべく活動中



村山 智一 むらやま ともかず
(株式会社 OkuruSky (オクルスカイ) 代表取締役)

醸造用ブドウの栽培農家であるとともに、「能登の美味しい」を詰め込んだ「HITOTSU」ブランド、旧校舎をリフォームしたシェアハウス、ワインカフェ「RYUCRU (リウ・クリュ)」を運営、就農希望者を支援している



伊藤 知子 いとう ともこ
(長良川温泉若女将協会会長)

老舗旅館十八楼の若女将として活躍するとともに、長良川温泉若女将協会の会長として観光 PR 活動などで活動中。新しいおみやげ“若女将協会オリジナル「あゆかりん鮎果鈴”を商品化



永吉 剛 ながよし ごう
(NPO 法人メタセコイアの森の仲間たち代表理事)

兵庫県神戸市出身。仕事で訪れたのがきっかけで郡上へ移住。こどもキャンプや田んぼアートなど自然体験を中心に、企画・運営のほか、若者狩猟チーム「いのしかちょう猪鹿庁」で猟師としても活動中